

第20回 岡大サイエンスカフェ

宇宙で育て！植物たち ～ 宇宙での生活をめざして～



講師 岡山大学資源植物科学研究所
准教授 杉本 学（専門分野：細胞分子生化学）

米国オバマ大統領は2030年代半ばを目標に火星に人を送ることを4月に発表、ロシアでは模擬火星旅行実験が6月から開始され、いよいよ火星有人飛行が現実味をおびてきました。今後人類が地球から遠く離れた宇宙空間で長期にわたり滞在し活動するためには、食料自給のために宇宙空間で作物を生産する必要があります。しかし、微小重力や宇宙放射線など地球上とは全く異なる宇宙環境で植物は変化無く生育することができるのでしょうか？ 種子を保存することはできるのでしょうか？

今回のサイエンスカフェでは、私たちが行っている国際宇宙ステーションを利用した植物の宇宙環境への適応能力に関する研究について紹介します。私たちは宇宙で大麦種子の保存と栽培を行い、また宇宙で長期保存した大麦種子の子孫を用いた世界初となる宇宙ビールを醸造しましたが、その目的や結果は？ 宇宙での生活に欠かすことができない「植物の力」をお話します。



火星基地の想像図 ©NASA



国際宇宙ステーション ©NASA



世界初の宇宙ビール

参加者募集

- ◆開催日時
平成22年10月26日（火）
午後6:00～7:30
- ◆開催場所
岡山市デジタルミュージアム 4階講義室
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
社会連携本部
FAX: 086-251-8467
E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp
氏名・年齢・電話番号は必ず明記してください
- ◆締め切り
平成21年10月22日（金）午後5時
- ◆参加費 無料（飲みもの含む）
- ◆問い合わせ先
社会連携本部 松浦 Tel:086-251-7112



本催しはJSTイノベーションランチ岡山の協賛を受けております

社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも
(岡山大学の教職員・学生は対象外)